

那覇市立病院・最近の出来事



那覇市立病院医師会会長 川野 幸志

1 電子カルテ導入

当院は平成10年度にオーダーリング・システムを導入し、念願であった電子カルテ・システムを平成18年12月1日に導入しました。情報システム運営委員長の島袋洋先生を中心に万全の体制で臨んだせいか、今になって思うと大きな混乱はなかったと思います（注）。（もっとも小さな混乱は、今もあります）また、今でも納得のいかないことも幾つかあります。例えば、男性の患者にもレントゲンの指示を出すときに、『妊娠していますか？』と電子カルテは問います。この件について、電子カルテ制作会社の方と議論したことがありますが、「では女性でも、年寄りはどうしますか？子供はどうしますか？」などと、議論が発展してしまい、結局「出来ません」の結論となり、最終的に、私たちが「ワン・クリック」多くすることで決着してしまいました。（本当に変ですよ。他の病院の電子カルテもこうですかね??）

医局員は頭では分かっていたのですが、オーダーリングと電子カルテとは、全く違います。それでもオーダーリングに慣れていなければ、もっと大変だったのではないかと今でも思っています。当院の「院内便り・薨」1月号にこんな川柳が載っていました。『電子カルテ フリーズしてる 顔までも』。当初はこんな光景も、電子カルテ端末の前でちよくちよく見られましたが、最近では殆どありませんので、結構慣れ親しんで使いこなしていると思います。それでも時々、難渋することもあります。そういう場合は、私は若手の医師に教えてもらい、殆ど解決してしまいます。年寄りには使いこなすのには時間がかかるのかもしれない。

今まで電子カルテ導入前に視察した病院でも、導入後1回くらいは、システムダウンがあったようで、紙運用で切り抜けたとか、支払いは後日にしてもらったとか涙ぐましい奮闘ぶりも聞いてきました。実は当院でも先日、大変な目に逢いました。それは停電です。3月8日朝9時過ぎに、突然首里地区を停電が襲いました。新聞にも載っていましたが、記憶にある方もあるかと思いますが、後日談では、どうも電力会社の工事中の事故が原因だったようです。いつもの停電ではすぐに補助電源に繋がるようになってはいるのですが、この時はなんと30分以上も停電のままでした。無停電になっていたICUを除いて、病院全体の電力が止まってしまいました。これも電子カルテ導入に伴って、院内が電力工事中で、補助電源への切り替えがうまくいかなかったのが原因でした。幸いにも人工呼吸器は多くの人手で何とかなりました。しかし、手術室は大混乱でした。不幸中の幸いで、手術開始前であったため、大事故に繋がらず救われた思いでした。

さて、肝心の電子カルテは勿論、停電では使



(写真：医師が電子カルテを操作している場面)

えません。しかし、多くの職員の奮闘で、午前中には診療が円滑に出来るようになりました。電力の切り替えなどは、翌日には円滑に出来るようにしたのはいうまでもありません。このような危険は何処に潜んでいるのか分かりませんが、これを良い教訓として今後のリスク・マネージメントにつなげていきたいものです。

(注：導入の事前準備などは、「院内だより・薨」第239号・平成18年12月号に島袋洋先生が詳しく書いています)

2 初期臨床研修医2期生修了

初期臨床研修の義務化が始まり、当院でも3年前から本格的に研修医を受け入れています。今回2期生7人がめでたく、無事に3月で修了することが出来ました。3年目の後期研修などは当院内科1名、脳神経外科1名、琉大皮膚科1名、東京女子医科大学麻酔科・脳神経外科各1名、産業医（千葉県新日鉄）1名です。それぞれ新たな路へ、夢と希望を抱いて再スタートを切ります。進路は違えども、これからも一層の研鑽を期待します。

3月23日に開催されました当院の研修管理委

員会では、上記7人の臨床研修の修了認定が行われました。また、質疑応答では、外部委員からの助言・質問では以下のような点が指摘されましたので、ご紹介します。先ず離島の診療所の医師からは、整形外科的診療が未熟のようであるとの指摘がありました。以前ご指摘があったからは、離島への研修医派遣前に、ギブスの巻き方など、基本的な整形外科的処置を習得してもらってから派遣していますので、だいぶ改善されたのではないのでしょうか。また、別の委員からは必修となった精神科研修の成果はあるのかとの質問がなされました。当院委員の精神科医師から、精神科研修は1ヶ月と短い研修期間ではあるが、心身両面ともに診れるバランスの良い医師に育つのではないかと回答しました。本当に貴重なご意見・ご質問をありがとうございました。

尚、当院では4月採用の研修医4期生は12人に増員となります。新研修医が益々充実した研修が出来るよう、先輩医師も頑張らねばなりません。若い研修医が増えて、病院はますます活気付いています。

原稿募集！

随筆のコーナー（2,500字以内）

随時、募集いたします。日常診療のエピソード、青春の思い出、一枚の写真、趣味などのほか、紀行文、特技、書評など、お気軽に御寄稿下さい。